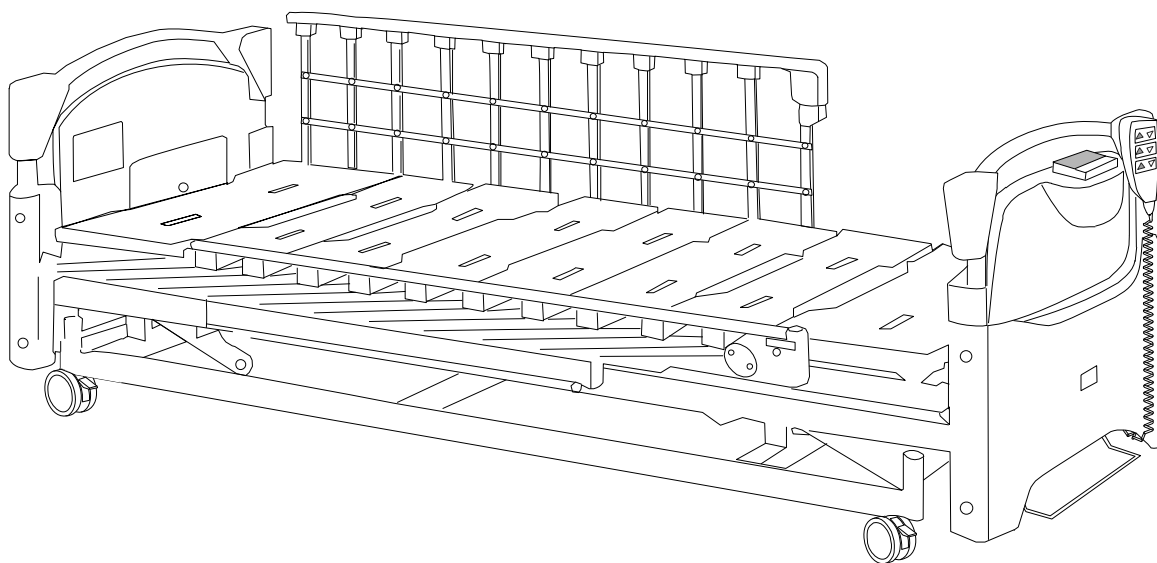


取扱説明書

適用機種

UFT-WAK-810-N	UFT-WAK-710-N
UFT-WAK-810-K	UFT-WAK-710-K
UFT-WAK-810-K2	UFT-WAK-710-K2
UFT-WAK2-810-N	UFT-WAK2-710-N
UFT-WAK2-810-K	UFT-WAK2-710-K
UFT-WAK2-810-K2	UFT-WAK2-710-K2



※図は折りたたみ式サイドガードとキャスター集中ロック装着時です。

ご注意

- (1) 本書の一部または全部を無断転載することは固くお断りします。
- (2) 本書の内容については将来予告無しに変更することがあります。
- (3) 本書の内容は万全を期して作成しておりますが、ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきの点がありましたら、ご連絡ください。
- (4) 当社では本機の運用を理由とする損失、損失利益等の請求については(3)項にかかわらずいかなる責任も負いかねますので、ご了承ください。

© 2016 株式会社 エー・アンド・デイ




株式会社エー・アンド・デイの許可なく複製・改変などを行なうことはできません。

本書に記載されている商品名及び社名は日本国内または他の国における各社の商標または登録商標です。




注意事項の表記方法

取扱説明書および製品には、誤った取り扱いによる事故を未然に防ぐため、次の警告サインと図記号で表示しています。警告サインと図記号の意味は次の通りです。

警告サインの意味

 危険	この表記は、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う差し迫った危険が想定される内容を示します。
 警告	この表記は、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
 注意	この表記は、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容を示します。

図記号の意味

	△記号は注意（警告・危険を含む）を示します。 具体的な注意内容は、△の中や近くに文章や絵で示します。 左図の場合は「感電注意」を示します。
	⊘記号はしてはいけないこと（禁止）を示しています。 具体的な禁止内容は、⊘の中や近くに文書や絵で示します。 左図の場合は「分解禁止」を示します。
	●記号は必ず守っていただきたいこと（強制）を示しています。 具体的な強制内容は、●の中や近くに文書や絵で示します。 左図の場合は「守っていただきたいこと」を示します。

その他







お知らせ	機器を操作するのに役立つ情報です。
-------------	-------------------

この他にも、個別の注意事項がそれぞれのページに記載されていますので併せてご参照ください。



使用上（安全及び危険防止）の注意事項




正しく、安全にお使いいただくために、以下の注意事項を十分に理解した上で取り扱ってください。
なお、ここに記載されている内容は、機器の安全な取り扱いの他に、測定者および被測定者の安全についての一般的な事柄をまとめたものです。機器特有の注意事項については、以降の本文中に記載しておりますので、ご使用に先立ち取扱説明書をご一読ください。

1. 機器の設置および保管は、次の点に注意してください。




 危険	
	<ul style="list-style-type: none">■ 可燃性の高い麻酔薬あるいは引火性ガスの発生する場所、および高圧酸素室、酸素テント内に本器を持ち込んで使用しないでください。引火爆発の原因になります。
 注意	
	<p>□ 下記の使用環境、保管環境でご使用ください。</p> <ul style="list-style-type: none">■ 水のかからない場所。■ 高温、多湿にならない場所、直射日光の当たらない場所、ほこりの少ない場所、および塩分、イオウ分などを含んだ空気にさらされない場所。■ 傾斜、振動、衝撃（運搬時を含む）のない安定した場所。■ 本器および被測定者の重さに耐えうる場所。■ 暖房器具から離れた、または空調機の風が直接当たらない場所。■ 化学薬品が保管されていたり、ガスが発生しない場所。■ 設置：温度+5℃～+35℃、湿度 85%RH 以下（結露なきこと）の場所。■ 保管：温度-10℃～+60℃の場所。■ 機器の電源（周波数、電圧、電流）に十分対応できるコンセントが用意された場所。
	<p>□ 製品の設置・移動時は、下記に注意してください。</p> <ul style="list-style-type: none">■ 移動時は、フレームを持って設置・移動してください。■ 移動時は、静かにしてください。 まわりの人やものとぶつかり、けがや故障の原因になります。■ 移動・設置中に本体のまわりに人やものがないことを確認してください。■ 移動・設置中に本体を壁やものなどにぶつけないようにしてください。 故障の原因となります。■ 乱暴に取り扱わないでください。 故障の原因となります。■ 設置、保管に際しては、キャスターロックでキャスター4輪をすべてロックしてください。■ 設置、保管に際しては、窓側との距離を充分確保して、誤って窓下に落下しない場所に設置、保管してください。
	<ul style="list-style-type: none">■ 本器は重量物のため、設置時に手や足をはさまないように注意してください。

2. 機器を使用する前に次の点を確認してください。




 警告	
	<ul style="list-style-type: none">■ 電源電圧は交流 100V でご使用ください。 火災や感電の原因になります。

 注意	
	<ul style="list-style-type: none">■ 機器が安全かつ正確に動作すること。■ すべてのケーブルが正しくかつ完全に接続されていること。■ 他の医療用テレメータとの相互干渉に注意して問題がないことを確認すること。■ 安全に正しく使用するために始業前点検を必ず行うこと。■ 機器に結露がある場合は、十分に乾燥してから電源を入れること。
	<ul style="list-style-type: none">■ 乗り降りの際には、背上げ、脚上げ、膝上げを下げて平らな状態にしてください。■ ベッドに乗っている人はリモコンに触れないでください。 測定に影響します。■ リモコンコードがベッド上のものと触れないようにしてください。 測定に影響します。■ 本器は人間の体重を測定することを目的としています。 体重測定以外の目的で使用しないでください。■ 電源ケーブルや他のケーブルの上に重いものを載せたり、本器の下敷きにしないこと。 火災・感電の原因になります。■ 電源ケーブルが破損している場合は使用しないこと。 感電や絶縁劣化により漏電火災の原因になります。■ 当社指定外のオプション品・消耗品は取り付けないこと。



3. 機器の使用中は次の点に注意してください。

 注意	
	<ul style="list-style-type: none">■ 機器全般および被測定者に異常のないことを絶えず監視すること。■ 機器全般および被測定者に異常が発見された場合には、安全な状態で機器の動作を止める等適切な措置を講ずること。■ 計量台の下にもものが入り込んだ状態や、周囲の壁等との接触を避けること。 測定に影響します。■ ベッド上のマットレス、枕、布団等がヘッドガード、フットガード、周辺のものなどに触れないようにしてください。 測定に影響します。■ 測定時は静かに計量台に乗り、測定が終了するまで体を動かさないこと。
	<ul style="list-style-type: none">■ 強磁界および強電界中では使用しないこと。■ 温度変化の激しい場所では使用しないこと。測定値に誤差を生じる恐れがあります。 温度差のある場所に移動するような場合は、移動後十分時間が経過してからご使用ください。■ ボールペンなど尖ったもので表示器のスイッチ部を押さないこと。 故障の原因になります。■ 計量台に飛び乗ったり、乱暴に取り扱わないこと。 けがや故障の原因になります。■ ベッドの下に潜り込んだり、ベッド内部に頭、腕、足等を入れないでください。 けがや故障の原因になります。




4. 機器の使用後は次の点を確認してください。

 注意	
	<ul style="list-style-type: none">■ 定められた手順により操作スイッチ等を使用前の状態に戻した後、電源を切ること。■ 付属品等は清掃した後、整理し保管すること。■ 機器は次回の使用に支障のないよう必ず清掃しておくこと。
	<ul style="list-style-type: none">■ ケーブル類を取り外すときは、ケーブルを持って引き抜く等無理な力をかけないこと。

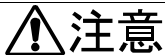

5. 機器が異常と思われたときは、次の処置をしてください。

 警告	
	<ul style="list-style-type: none">■ 測定者および被測定者の安全を確保すること。■ 機器の動作を止め、電源ケーブルをコンセントから抜くこと。■ 機器に「故障」、「使用禁止」等の表示を行い、速やかに当社までご連絡ください。

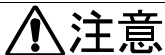

6. 保守点検については次の点に注意してください。

 警告	
	<ul style="list-style-type: none">■ お手入れの際は、感電防止のため、本器の電源ケーブルをコンセントから抜いてください。■ しばらく使用しなかった機器を再使用するときは、使用前に必ず機器が正常にかつ安全に動作することを確認してください。■ 安全に正しく使用するため、始業前点検、保守点検は必ず行ってください。機器の使用・保守の管理責任は、設置者（施設、学校、病院・診療所）側にあります。始業前点検や保守点検を怠ると事故の原因になります。
	<ul style="list-style-type: none">■ 本器の分解、および改造はしないでください。けが、火災、感電の原因となります。

7. 強い電磁波やノイズにより誤動作を起こすことがありますので注意してください。

 注意	
	<ul style="list-style-type: none">■ 本器は、JIS C 61000-4-3（電磁両立性）に準拠していますが、周囲に強い電磁波やノイズ等が存在すると、誤動作を起こす恐れがあります。機器の使用時、意図せぬ誤動作が発生した場合は、電磁環境の状況を調査し、必要な対策を実施してください。 <p>次に一般的な原因と対策の一例をあげます。</p> <ul style="list-style-type: none">■ 携帯電話やマイクロ波治療装置等の近くでの使用 電波によって予期せぬ誤動作をして正確に測定できない恐れがあります。 本器の設置向きを変えてみるか、または下記の対策を実施してください。<ul style="list-style-type: none">□ 医用電気機器の設置してある部屋または建物の中では、携帯電話や小型無線機器等の電源を切るよう指導する。□ 本器を使用中はマイクロ波治療装置等の使用を控える。■ 電源コンセント等を伝わって、他の機器から高周波雑音が入った場合<ul style="list-style-type: none">□ 雑音源を確認し、その経路を雑音除去装置等により対策する。□ 雑音源が停止できる機器であれば、その使用を止める。□ 他の電源コンセントから電源を取る。■ 静電気の影響があると思われる場合（機器およびその周辺での放電）<ul style="list-style-type: none">□ 装置を使用する前に、測定者、被測定者とも十分に放電を行う。□ 部屋を加湿する。■ 落雷等による影響 近くで雷が発生したときは、過大な電圧が機器に誘導されることがあります。このような場合は次の方法で機器を動作させてください。<ul style="list-style-type: none">□ 無停電電源装置（JIS T0601-1 に適合している機種）を使用する。

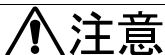



8. 環境保護

 注意	
	<ul style="list-style-type: none">■ 本器を廃棄するときは、各自治体のリサイクルプランに従い処理してください。

安全測定のための警告および注意

測定に関する警告および注意事項を記載致します。

測定結果の自己判断、治療は危険ですので医師の指導に従ってください。

 注意	
	<ul style="list-style-type: none">■ 本器には角や段差があります。転倒したりぶつけてけがをしないよう注意してください。■ 計量台の昇降時または停車中は、必ずキャスターを固定してください。計量台が動き、けがをする場合があります。■ 計量台に乗るときは、手すりをつかみ計量台の中央に静かに乗ってください。転倒しけがをする恐れがあります。
	<ul style="list-style-type: none">■ 手すりの上に登ったり、ぶら下がったり、座ったりしないでください。転倒する恐れがあります。■ 計量台の端に乗らないでください。転倒する恐れがあります。■ 計量台に飛び乗らないでください。けがや転倒する恐れがあります。■ 手すりに強く寄りかからないでください。転倒する恐れがあります。
	<ul style="list-style-type: none">■ 計量台に乗るときには、手すり等に手や足をはさまないように注意してください。■ 計量台に乗るときには、手すり等に体をぶつけないように注意してください。■ 移動時に、計量台やキャスターに足をはさまないように注意してください。

お知らせ	
	<ul style="list-style-type: none">■ 計量台の中央部にお乗りください。■ 体動（揺らぎ）の大きい被測定者の場合、正しく測定できない場合があります。体動は測定誤差の原因になります。

開梱

⚠注意



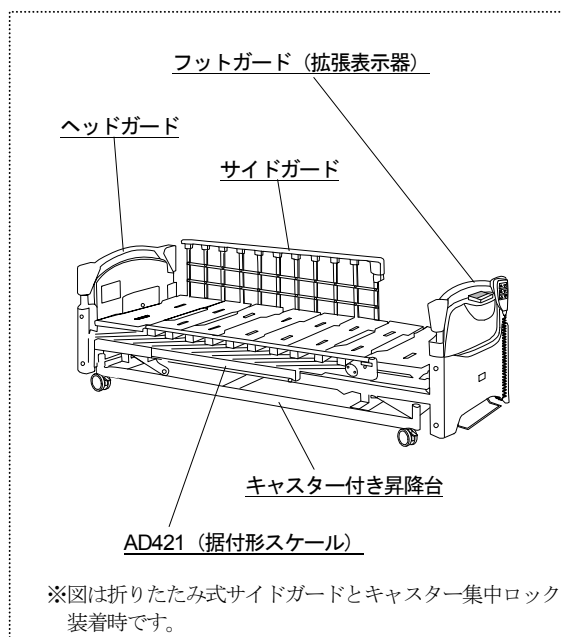
- 本器は、精密機械ですので丁寧に扱ってください。強い衝撃を与えると故障の原因となります。

ご使用前に付属品がそろっていること、本体と各付属品に損傷がないことを確認してください。
万一、損傷があったり内容物の不足がある場合には、お買い求め頂いた販売店または当社営業所にお問い合わせください。

□ 本体..... 1 セット

□ 付属品 取扱説明書（本書） 1 冊

本体



付属品



[Blank page]

目次

1.	はじめに.....	2
2.	特長	2
3.	検定付き計量器.....	3
4.	用語の解説.....	3
5.	仕様	4
5.1.	本体仕様.....	4
5.2.	外形寸法.....	5
6.	各部の名称と機能	6
6.1.	各部の名称.....	6
6.2.	スイッチ機能.....	7
6.2.1.	キャスターロック	7
6.2.2.	リモコン	7
6.2.3.	拡張表示器 (WAK-810-N)	8
6.2.4.	主表示器 (AD421)	9
6.3.	表示部の説明	10
6.3.1.	拡張表示器 (WAK-810-N)	10
6.3.2.	主表示器 (AD421)	11
7.	ご使用の準備	12
7.1.	設置	12
7.2.	電源の準備.....	12
7.3.	始業前点検.....	13
7.3.1.	電源投入前.....	13
7.3.2.	電源投入後.....	13
8.	操作方法.....	14
8.1.	測定	14
9	保守	16
9.1.	保守点検と安全管理.....	16
9.2.	清掃	16
9.3.	定期点検.....	16
9.3.1.	電源投入前	16
9.3.2.	電源投入後	17
9.4.	廃棄	17
9.5.	修理を依頼される前に.....	18
9.5.1.	拡張表示器のエラー表示.....	19
9.5.2.	主表示器のエラー表示.....	19
10.	重力加速度の大きさの範囲	20

1. はじめに

このたびは、エー・アンド・デイの検定付きスケールベッドをお買い求めいただき誠にありがとうございます。この取扱説明書は、スケールベッドの操作方法ならびに保守、仕様について記述したものです。

本器をご理解いただき、十分にご活用いただくためにご使用前に本書をよくお読みになり、いつでも見られる所に大切に保管してください。

2. 特長

スケールベッドは、はかり（AD421）をキャスター付き昇降台に取り付けた体重計です。寝た状態で安全に計量できます。

- 担架部の昇降
担架部が上下して高さ調節できます。
- キャスターロック機能
安全に配慮し、キャスターを固定するためのロックが付いています。
- 体重測定
ロードセルを4本使用することで、体重を正確に測定できます。
- 変化量監視機能
体重変化を10g単位で監視し、体重変化が設定した監視値を超えた場合、アラームを鳴らします。

3. 検定付き計量器

はかり部分 AD421 は、「取引」または「証明」の計量に使用可能な検定付き計量器です。

検定付き計量器を使用するための事項がフレーム側面の銘板に記載されています。

以下の注意事項を熟読の上で正しくご使用ください。

※詳細については「AD421 据付形スケール 取扱説明書」をご参照ください。

■ 使用地域の制限

検定付き計量器を「取引」または「証明」に使用する場合、使用できる地域は重力加速度で制限されています。

決められた重力加速度範囲の地域で使用してください。重力加速度範囲は、フレーム側面の銘板に記載されています。

※使用地域については、「10.重力加速度の大きさの範囲」を参照してください

■ ひょう量と最小測定量、目量、実目量

「取引」または「証明」の計量に使用する「ひょう量」と「最小測定量」、「目量」、「実目量」は、フレーム側面の銘板および表示部に記載されています。

「取引」とは、計量法の「有償であること無償であることを問わず、物又は役務の給付を目的とする業務上の行為」をいいます。

「証明」とは、計量法の「公に又は業務上他人に一定の事実が真実である旨を表明すること」をいいます。

■ 使用温度範囲

「取引」または「証明」の計量に使用する「使用温度範囲」は、フレーム側面の銘板に記載されています。

■ 定期検査

本器を「取引」または「証明」に使用する場合、計量器の器差および性能が一定の基準内に維持されているか、計量法施行令第 11 条により 2 年ごとに定期検査が義務付けられています。

当定期検査は、都道府県の指定した施設にて行いますので、詳細は各都道府県にお問合せください。

定期検査を行う際は、表示固定を解除してご使用ください。

※定期検査を行う際は、「AD421 据付形スケール 取扱説明書」をご参照ください。

「はかり」は、長期間使用していると精度の狂いを生ずることがあります。

性能維持のため定期点検をお奨めします。定期点検については、当社にお問合せください。

※定期点検については、「9.3 定期点検」を参照してください。

■ 校正

検定付き計量器の校正は、ユーザでは行えません。お買い求めの販売店にご相談ください。

4. 用語の解説

略語	解説
ひょう量	はかりが計量可能な最大の質量を表します。本器のひょう量は 150 kg です（風袋量を含む）。
目量	はかりの 1 つの目盛の量を表し、デジタル表示の場合、数字が切り替わる間隔を表します。本器の目量は 100 g であり、表示が 100 g 単位で増減します。
実目量 (拡張表示)	目量より細かく表示できる目盛の量です。本器は、測定結果を表示固定中に主表示器の▲スイッチを押している間のみ体重値を 20 g 単位で拡張表示しますが、拡張表示された結果を「取引」または「証明」には使用できません。参考値としてお使いください。
風袋引き	風袋の質量を差し引いて正味量を測ることを表します。 風袋の質量（風袋量）とは、計量時に使用する着衣などの質量のことです。
正味量	総量から風袋量を差し引いた正味の質量を表します。
プリセット風袋量	計量時に風袋の質量を測ることなく、事前に把握している着衣などの質量を入力して風袋設定した値を表します。
総量	風袋量またはプリセット風袋量と正味量を足した質量値を表します。

※詳細については「AD421 据付形スケール 取扱説明書」をご参照ください。

5. 仕様

5.1. 本体仕様

項目	仕様
型名	UFT-WAK-810-N, UFT-WAK-810-K, UFT-WAK-810-K2, UFT-WAK-710-N, UFT-WAK-710-K, UFT-WAK-710-K2, UFT-WAK2-810-N, UFT-WAK2-810-K, UFT-WAK2-810-K2, UFT-WAK2-710-N, UFT-WAK2-710-K, UFT-WAK2-710-K2
販売名	検定付きスケールベッド
精度等級	3 級
ひょう量	150 kg
目量	100 g
最小測定量	2 kg
最大減算風袋量	150 kg
使用温湿度範囲	温度：+5℃～+35℃ 湿度：85%RH 以下（結露なきこと）
表示	7 セグメント液晶表示 文字高 22 [mm]
外形寸法	800 (W)×2217 (D)×447～720 (H) [mm] 突起部を除く※
計量台寸法	760 (W)×1922 (D) [mm]※
電源	AC100V, 50-60Hz
本体質量	約 150 kg
耐用期間	設置後 5 年 当社データによる自己認証。（正規の保守点検などの推奨された環境で使用した場合のデータです。使用状況により差異が生じることがあります。）

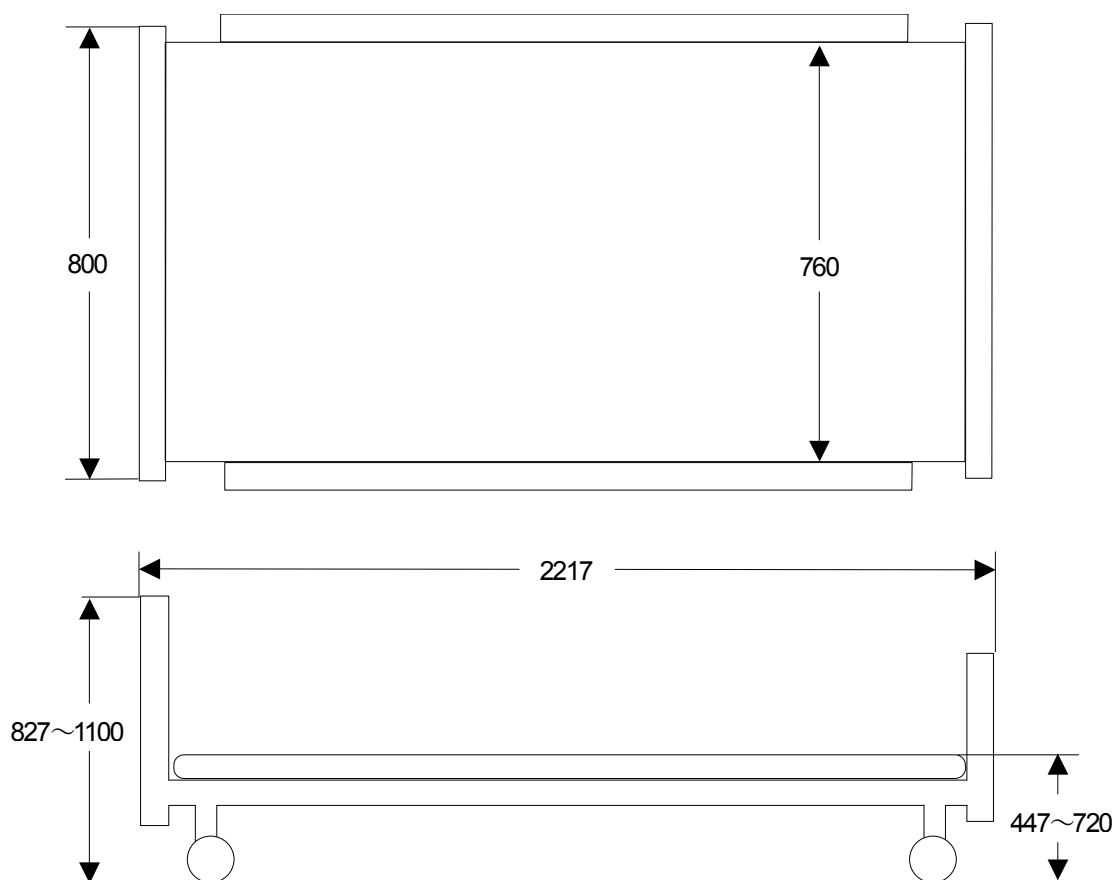
※寸法は、UFT-WAK-810-N の数値を記載しています。

総幅寸法についてはサイドガードにより異なります。

差込式サイドガード装備 : 888 mm

折りたたみ式サイドガード装備 : 906 mm

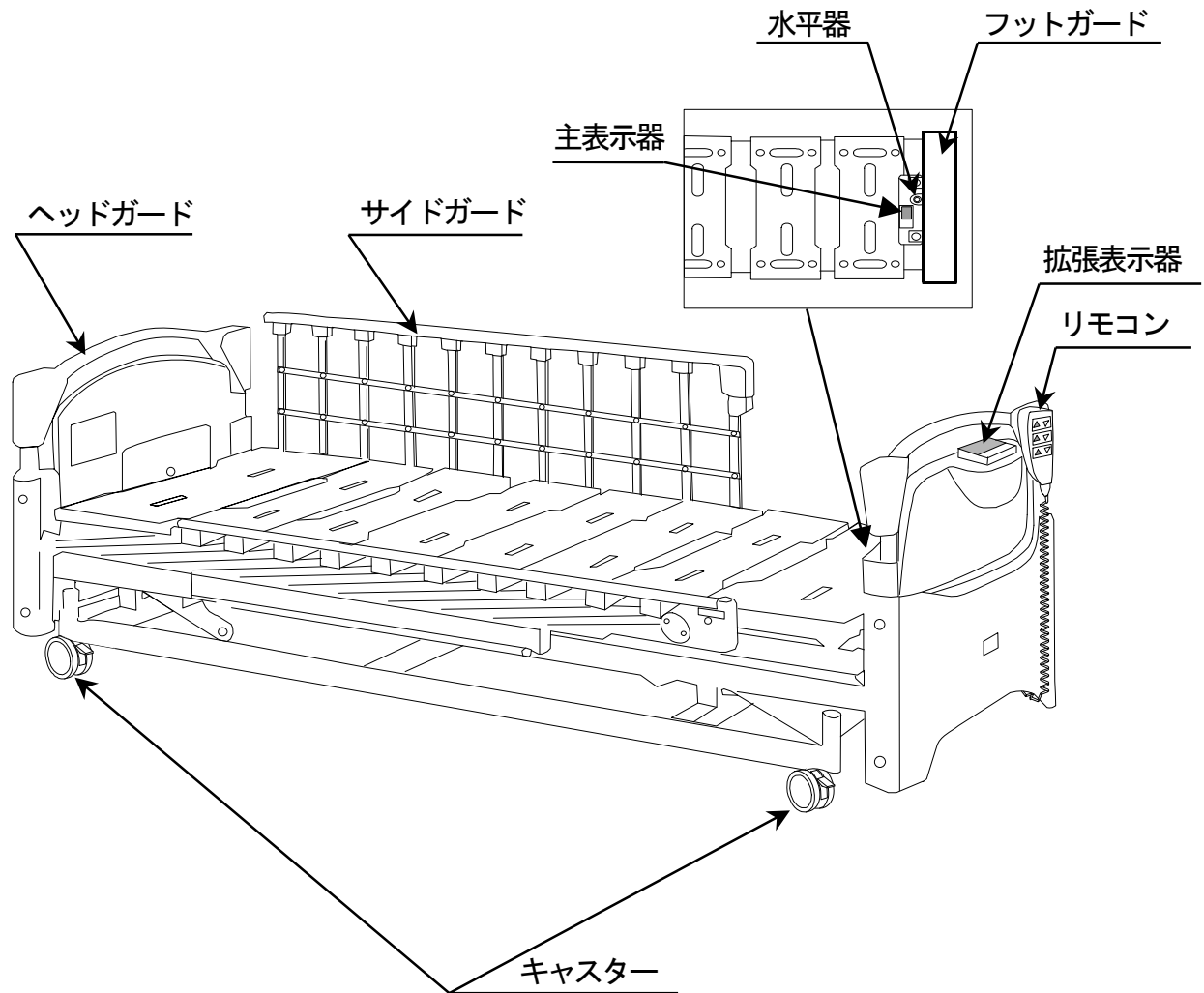
5.2. 外形寸法



※ 寸法はUFT-WAK-810-Nの数値を記載しています。

6. 各部の名称と機能

6.1. 各部の名称

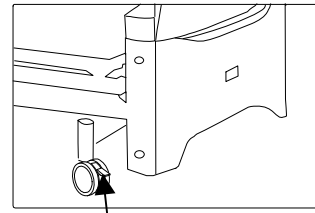


※図は UFT-WAK-810-N に折りたたみ式サイドガード装着時です。

6.2. スイッチ機能

6.2.1. キャスターロック

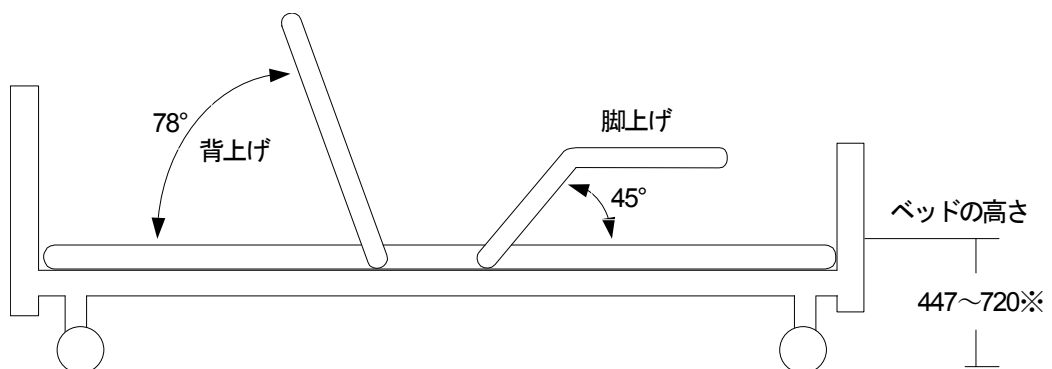
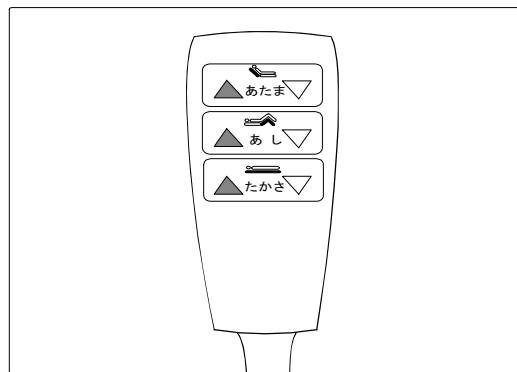
キャスターロックを下に下げると、キャスターをロックします。
キャスターロックを上げると、キャスターロックを解除します。



キャスターロック

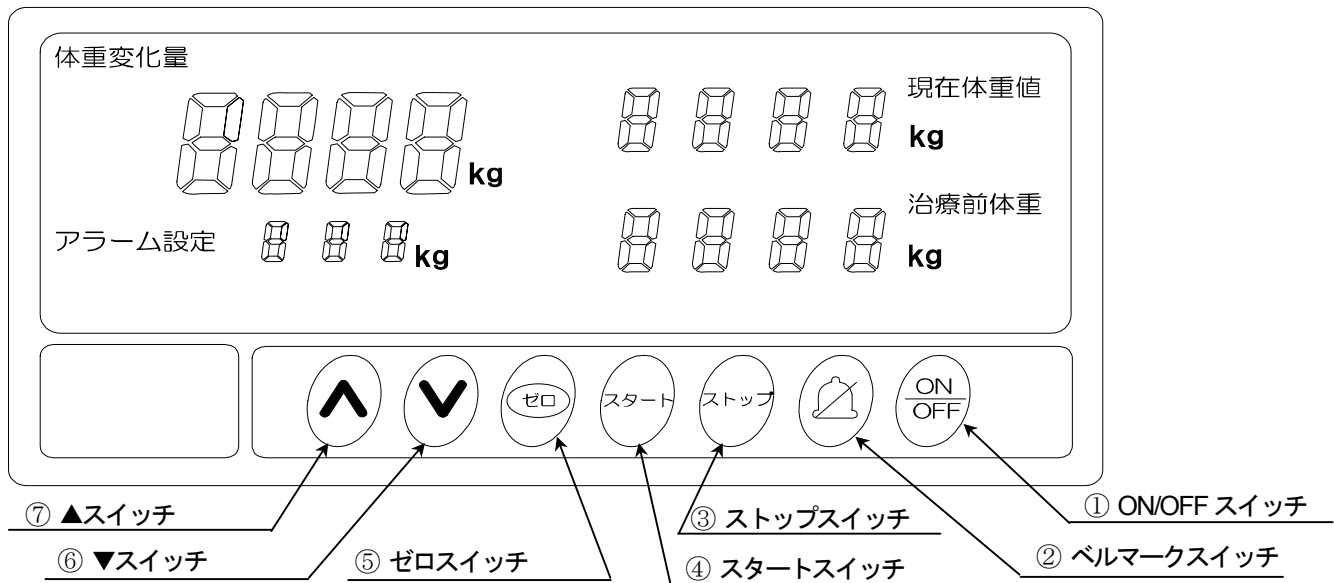
6.2.2. リモコン

リモコンのスイッチを押すことで背上げ、脚上げ、ベッドの高さを上下することができます。
リモコンの▲をすと、上がります。
リモコンの▼を押すと、下がります。



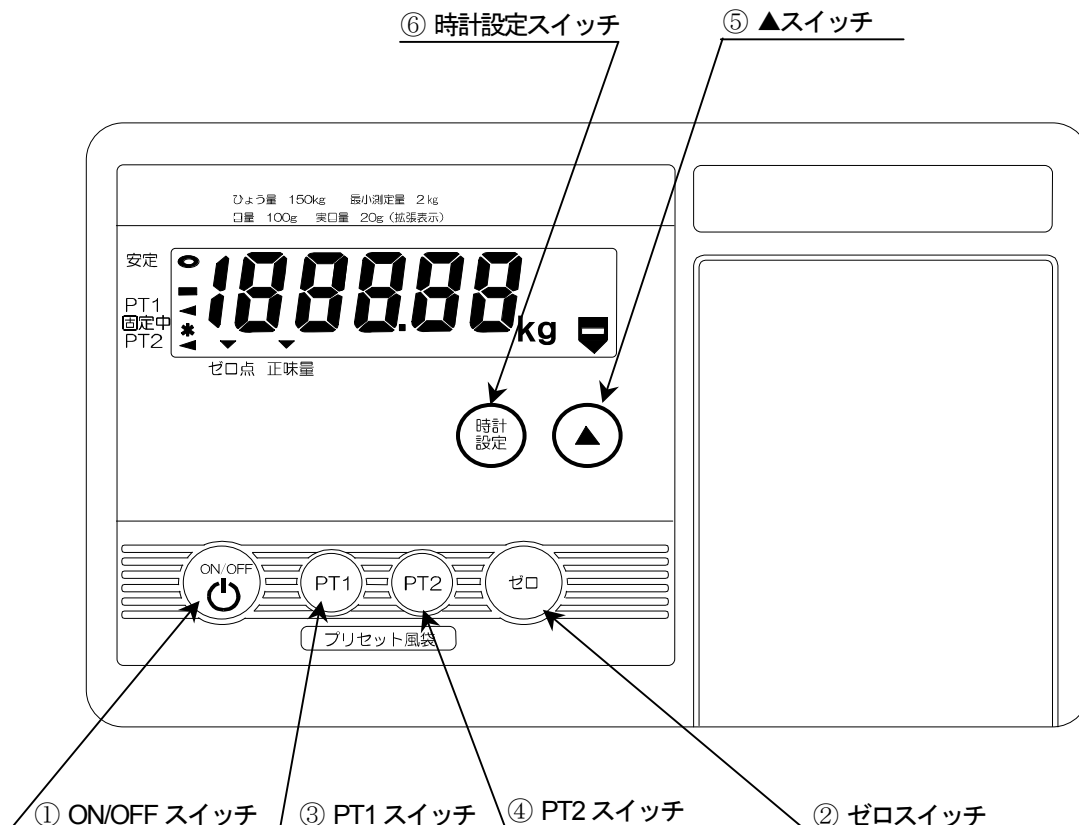
※ベッドの高さは UFT-WAK-810-N の数値を記載しています。

6.2.3. 拡張表示器 (WAK-810-N)



番号	名称	機能
①	ON/OFF スイッチ	<ul style="list-style-type: none"> 測定の ON/OFF を行います。 スイッチを押すと、現在体重値 “0.0 kg” が表示されます。 測定 OFF にする際は、長押しします。
②	ベルマークスイッチ	<ul style="list-style-type: none"> アラーム音の消音を行います。 このスイッチを押しながら△または▽を押すとアラーム音量（4段階調整）を変えることができます。
③	ストップスイッチ	<ul style="list-style-type: none"> 体重変化量計測中に長押しすると、体重変化量計測を中断します。 ※治療前体重、体重変化量をクリアします。
④	スタートスイッチ	<ul style="list-style-type: none"> 体重変化量の測定を開始します。 スタート時の体重が治療前体重として表示されます。 現在体重値と治療前体重の差を体重変化量に表示します。
⑤	ゼロスイッチ	<ul style="list-style-type: none"> ゼロ点（現在体重値 “0.0 kg”）の設定を行います。 約3kg以下のとき、風袋量、プリセット風袋量はクリアされ、表示がゼロになります。 約3kg以上の場合、スイッチを押したときの総量を風袋量とし、風袋引き測定になります。 ※プリセット風袋引き測定の場合、約3kg以上のゼロスイッチは無視されます。
⑥	▽スイッチ	<ul style="list-style-type: none"> アラームの監視値を設定できます。 このスイッチを押すと、監視値が10g単位で減少します。 ベルマークスイッチを押しながら、このスイッチを押すとアラーム音量が変更できます。
⑦	△スイッチ	<ul style="list-style-type: none"> アラームの監視値を設定できます。 このスイッチを押すと、監視値が10g単位で増加します。 ベルマークスイッチを押しながら、このスイッチを押すとアラーム音量が変更できます。

6.2.4. 主表示器 (AD421)



AD421

番号	名称	機能
①	ON/OFF スイッチ	・測定を ON または OFF するスイッチです。
②	ゼロ スイッチ	・表示をゼロにするスイッチです。※ ・約 3kg 以下のとき、風袋量、プリセット風袋量はクリアされ、表示がゼロになります。 ・約 3kg 以上の場合、スイッチを押したときの総量を風袋量とし、風袋引き測定になります。 ※プリセット風袋引き測定の場合、約 3kg 以上での (㊟) スイッチは無視されます。
③	PT1 スイッチ	・プリセット風袋 (風袋 1) 引き測定を ON するスイッチです。※ ゼロをとってから、プリセット風袋引き測定します。 ・スイッチを長押しした場合は、プリセット風袋 (風袋 1) 量を設定します。 ※約 3kg 以上では (㊟) スイッチは無視されます。
④	PT2 スイッチ	・プリセット風袋 (風袋 2) 引き測定を ON するスイッチです。※ ゼロをとってから、プリセット風袋引き測定します。 ・スイッチを長押しした場合は、プリセット風袋 (風袋 2) 量を設定します。 ※約 3kg 以上では (㊟) スイッチは無視されます。
⑤	▲ スイッチ 20g	・表示固定中、このスイッチを押している間のみ体重値を実目量 (拡張 20g) 表示にします。 ・各種設定モード時に数値を変更するスイッチです。(時計設定) スイッチを押しながら (▲) スイッチを押した場合数値減少、それ以外の場合は数値増加します。
⑥	時計設定 スイッチ	・日付・時刻を設定するスイッチです。

※ ゼロ機能とは、(㊟) スイッチを押すと約 ±3 kg 以内は、ゼロとします (ゼロ点マークが点灯します)。約 3 kg 以上になると風袋引き (正味量マークとゼロ点マークが点灯) になります。

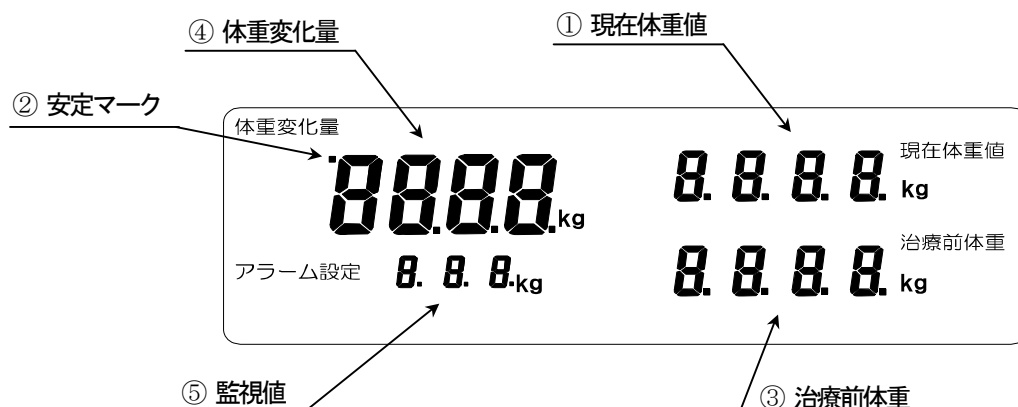
⚠ 注意



- 主表示器のキー操作は通常使用時に行いません。
定期検査等でキー操作が必要な場合は「AD421 据付形スケール 取扱説明書」をご参照ください。

6.3. 表示部の説明

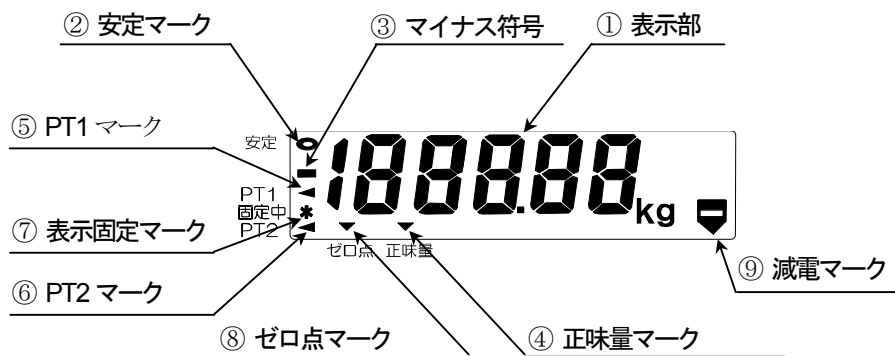
6.3.1. 拡張表示器 (WAK-810-N)



番号	名称	説明
①	現在体重値	現在の体重値を表示します。 ゼロスイッチを長押しすると、“0.0 kg”表示になります。
②	安定マーク	体重値が安定しているときに点灯します。
③	治療前体重	スタートスイッチを押した時点の現在体重値を保持、表示します。 ストップスイッチを長押しすると、クリアされblank表示になります。
④	体重変化量	スタートスイッチが押された後、現在体重値と治療前体重の差を10g単位で表示します。 ストップスイッチを長押しすると、クリアされblank表示になります。
⑤	監視値	体重変化量の絶対値（＋符号を除いた値）が監視値を超えた場合、アラームがなります。

6.3.2. 主表示器 (AD421)

□ 画面



番号	名称	説明
①	表示部	体重値を表示します。
②	安定マーク	体重値が安定しているときに点灯します。
③	マイナス符号	ゼロ点を取った重さより軽いときに表示します。 プリセット風袋量を表示するときに表示します。
④	正味量マーク	風袋引き測定、プリセット風袋引き測定中に点灯します。
⑤	PT1 マーク	プリセット風袋 (風袋1) 引き測定中に点灯します。 プリセット風袋 (風袋1) 設定中に点滅表示します。
⑥	PT2 マーク	プリセット風袋 (風袋2) 引き測定中に点灯します。 プリセット風袋 (風袋2) 設定中に点滅表示します。
⑦	表示固定マーク	体重表示を固定しているときに点灯します。
⑧	ゼロ点マーク	ゼロ点は、はかりの基準点です。 計量台になにも載せず、ゼロスイッチを押し、計量値がゼロ (ゼロ点) のとき表示します。 風袋引き、プリセット風袋引き測定の際の、ゼロ表示しているときも点灯します。
⑨	減電マーク	乾電池消耗時に点灯します。




※総量が-1.9 kg 以下になった場合は、“-E” 表示になります。

(安定マークが点灯した場合、ゼロスイッチを押して表示をゼロにすることができます。)

※ 総量が 150.8 kg を超えると表示範囲外 (ひょう量超過) になり、“E” を表示します。

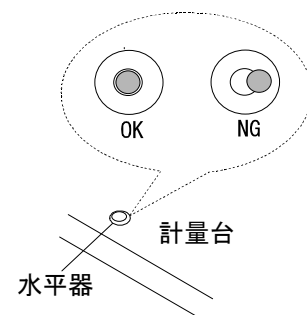
7. ご使用の準備

7.1. 設置





 注意	
	<ul style="list-style-type: none">■ 設置の際には、傾斜、振動、衝撃のない水平で安定した場所に設置してください。製品の設置不安定により、つまずきけがをする恐れがあります。■ 本器は、ひょう量（150 kg）と本器重量に十分耐えうる場所に設置してください。■ 計量台の下にもものが入り込んだ状態や、周囲の壁等との接触は避けてください。測定に影響します。
	<ul style="list-style-type: none">■ 本器は重量物のため、本器を設置・移動するときに手や足をはさまないように注意してください。■ 本器は可動する部分があります。設置、移動時に手をはさまないように注意してください。

手順：

1. キャスターロックでキャスター4輪すべてを固定します。
2. 水平器の円（赤色）の中に気泡があることを確認します。気泡が水平器の円の外にある場合、設置場所が水平でないと考えられます。水平な場所に設置し直して再確認します。
3. 設置完了です。



7.2. 電源の準備

 警告	
	<ul style="list-style-type: none">■ 電源電圧は交流 100V でご使用ください。
 注意	
	<ul style="list-style-type: none">■ 濡れた手で、電源ケーブルをコンセントに差し込まないでください。感電、および製品故障の原因となります。

1. 電源ケーブルをしっかりと AC100 コンセントに差し込みます。

7.3. 始業前点検

⚠注意



- 安全に正しく使用するため始業前点検は必ず行ってください。

一日の最初に使用するとき、以下の始業前点検を行ってください。

7.3.1. 電源投入前

電源投入前に下記点検を行い問題がないことを確認してご使用ください。

項目	内容
外観	<ul style="list-style-type: none">■ 落下等による変形や破損はないか■ 各部に汚れ、サビ、キズ等はないか■ パネル類に割れやガタつき等はないか■ スイッチ類に破損やガタつき等はないか■ 結露や水濡れはしていないか
リモコン	<ul style="list-style-type: none">■ 落下等による変形や破損はないか■ ケースに割れやガタつき等はないか■ スイッチ類に破損やガタつき等はないか■ 結露や水濡れはしていないか
計量台	<ul style="list-style-type: none">■ 計量台、固定異常はないか■ 計量台は、水平で安定した場所に設置されているか（水平器で確認）
表示器	<ul style="list-style-type: none">■ 表示器の取り付けガタ、変形や固定ネジの緩みはないか
電源ケーブル	<ul style="list-style-type: none">■ 電源ケーブルなどは傷んでいないか■ 電源ケーブルがコンセントに確実に挿入されているか

7.3.2. 電源投入後

電源投入後に下記点検を行い問題がないことを確認してご使用ください。

項目	内容
外観	<ul style="list-style-type: none">■ けむりが出たり、変なにおいはないか■ 異常な音が聞こえないか
リモコン	<ul style="list-style-type: none">■ 正常に背上げ、脚上げ、ベッドの高さを上下できるか？■ 異音、異臭がないか
体重測定	<ul style="list-style-type: none">■ 実測し、測定値および測定動作に異常はないか
データ処理	<ul style="list-style-type: none">■ 正常に通信可能か データに異常はないか
スイッチ・ボタン	<ul style="list-style-type: none">■ スイッチ、ボタン類の動作に異常はないか
表示	<ul style="list-style-type: none">■ 文字欠け等表示異常はないか

上記の「始業前点検」で、設定などがズレている場合、本書をご参照の上、修正を行ってください。

8. 操作方法

⚠️ 注意

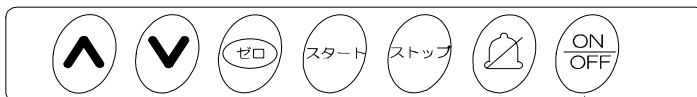


- 計量台に飛び乗らないでください。けがや転倒する恐れがあります。

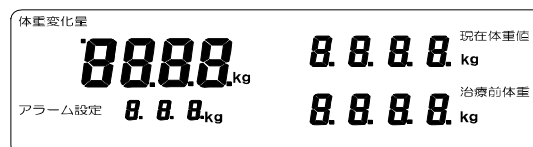
8.1. 測定

手順:

1. 測定を開始する前に電源の確認をしてください。
「7.2. 電源の準備」参照

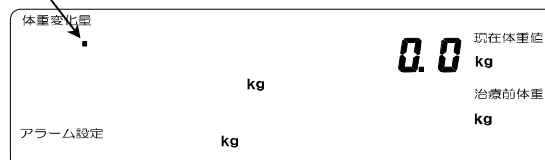


2. **ON/OFF** スイッチを押して測定 ON にします。



3. 全点灯表示後、現在体重値に“0.0 kg”表示と安定マークが点灯します。
現在体重値が“0.0 kg”表示になっていない場合は、**ゼロ**スイッチを長押ししてください。

安定マーク



計量台にものが載った状態で電源を入ると、全点灯表示後、体重変化量に“Err” 現在体重値に“0”を表示します。
計量台のものを降ろして、**ON/OFF** スイッチを長押ししてください。

4. 計量台の中央部に静かに乗ります。

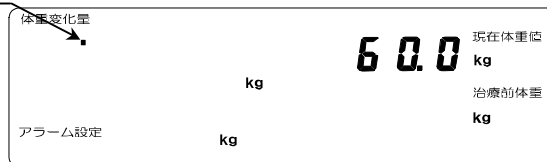
⚠️ 注意



- 測定中に体が動かないように測定してください。体動は測定誤差の原因となります。

5. 体重が安定すると安定マークが点灯し、現在体重値が表示固定されます。

安定マーク

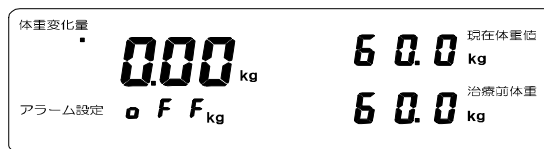


お知らせ

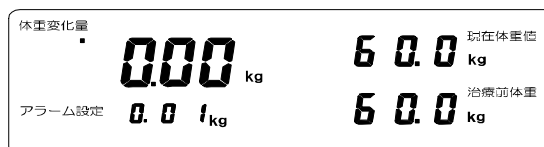
- 表示固定は、体重値が一度安定すると、±3 kg の変動があるまで表示し続ける機能です。体重値が 2 kg 以上の場合に適用されます。
- 総量が 150.8 kg を超えると表示範囲外になり、現在体重値に “EEEE” を表示します。

6. 体重変化量を測定する場合は、**スタート**スイッチを押します。

7. 治療前体重表示部に**スタート**スイッチを押したときの現在体重値を保存、表示します。体重変化量表示部に現在体重値と治療前体重の差分を 10 g 単位で表示します。



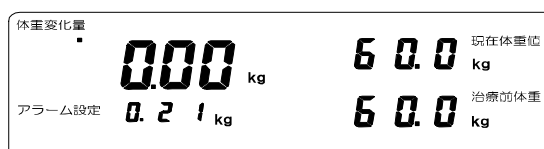
8. アラームをならすための監視値を変更する場合は、**▲**スイッチを押し監視値を増加、**▼**スイッチを押し監視値を減少します。



お知らせ

- 体重変化量表示部の絶対値（+-符号を除いた値）が、監視値を超えたとき、アラームがなります。

9. **ストップ**スイッチを長押しすると、治療前体重と体重変化量がブランク表示になり、体重変化量の測定を中断します。



10. 測定が終了したら計量台から静かに降ります。続けて測定しないときは、**ON/OFF**スイッチを長押しして測定 OFF にします。

9 保守




9.1. 保守点検と安全管理

本器などの機器は必要時にその有する機能が十分に発揮され、しかも被測定者ならびに測定者の安全が確実に保たれているように管理がされなければなりません。「始業前点検」などの日常管理については操作者によってなされることが原則となります。

本器の保守管理は、本器の性能および安全性、有効性を維持するために必要です。

当社では、1年に1回以上の定期点検をお勧め致します。

9.2. 清掃

 注意	
	<ul style="list-style-type: none">■ 清掃を行う際は、電源ケーブルをコンセントから抜いてください。感電の恐れがあります。
	<ul style="list-style-type: none">■ 機器に水をかけたり、水につけての清掃は絶対行わないでください。■ 本器の殺菌に際してオートクレーブ、ガス滅菌（EOG、ホルムアルデヒドガス、高濃度オゾンなど）を使用しないでください。■ シンナー、ベンジンなどの溶剤を用いて清掃しないでください。

本機器の清掃は病院の定めた方針や手順をもとに、1ヶ月に1回程度、以下のように行ってください。

- ・ 機器外装の汚れは、柔らかい布で乾拭きしてください。
- ・ 清掃するときは、水に薄めた中性洗剤または、消毒用アルコールを使用してください。
- ・ 血液、薬剤、汚物などが付着したときは、薄い中性洗剤溶液を少し含ませた布で清拭し、除去してください。

9.3. 定期点検

装置を正しくお使い頂くために、定期点検を実施してください。定期点検の主な内容は以下の通りです。

定期点検については、当社にお問合せください。

9.3.1. 電源投入前

電源投入前に下記点検を行い問題がないことを確認してください。

項目	内容
外観	<ul style="list-style-type: none">■ 落下等による変形、破損がないこと■ 各部の汚れ、キズがないこと■ フレームがサビ等で腐食していないこと■ パネル類の割れやガタつきがないこと■ 結露、水濡れしていないこと
操作部	<ul style="list-style-type: none">■ スイッチ、ボタン類の破損、ガタつきがないこと
表示部	<ul style="list-style-type: none">■ 画面の汚れ、キズ、ガタつきがないこと
測定部	<ul style="list-style-type: none">■ 計量台のガタつき、固定異常がないこと
接続ケーブル	<ul style="list-style-type: none">■ 電源ケーブルや接続ケーブルが破損していないこと■ 本体のコネクタに確実に挿入されていること

9.3.2. 電源投入後

電源投入後に下記点検を行い問題がないことを確認してください。

項目	内容
外観	■ けむりが出たり、変なおいがないこと ■ 異常な音がしないこと
操作部	■ スイッチ、ボタン類の動作を確認し異常がないこと
表示部	■ 表示装置の、マーク、数字等の表示欠けがないこと
測定部	■ 実測し、測定動作を確認し異常がないこと
データ処理	■ 測定値を表示確認し異常がないこと
電源部	■ 電源電圧を確認し異常がないこと

- 機器に異常がある場合は、点検にお出してください。
- 点検は、最寄りの当社営業所にお申し付けください。

9.4. 廃棄

本器の廃棄およびリサイクルについては、環境保護のため地方自治体の指導に従って処理してください。

品名	構成品	原材料
パッケージ	箱	段ボール
	緩衝材	段ボール
	袋	ビニール
本体	表示器筐体	ABS樹脂
	内部部品	一般部品
	シャーシ、手すり	鉄
	基板上の電池（バックアップ用）	リチウム電池

9.5. 修理を依頼される前に

測定条件や機器の異常を検出した場合やエラーコードが表示された場合は、修理を依頼される前に下記のチェック表に該当する現象がないかお確かめください。

これらの対処にもかかわらず、現象が再現する、あるいは改善されない場合は、当社 ME 機器相談センターにお問合せください。

現象	確認内容
ON/OFF スイッチを押しても、何も表示しない。	<ul style="list-style-type: none"> 電源ケーブルは正しく接続されていますか？
“Err 0” を表示したまま変わらない。	<ul style="list-style-type: none"> 計量台の上に何か載っていませんか？ 電源投入時、ひょう量の約 10% 以上のものが載せてある则表示されます。 主表示器と拡張表示器は 2 本のケーブルで正しく接続されていますか？ (修理依頼される際に当社 ME 機器相談センターに、このときの表示状態をお伝えください。)
荷重した重さと表示がズレている。	<ul style="list-style-type: none"> 計量台の下にものが入り込んでいませんか？ 計量台に壁やコードなどが接触していませんか？ 水平に設置されていますか？
スイッチがきかない。 表示が変化しない。	<ul style="list-style-type: none"> 電源ケーブルを抜いて、1 度電源を完全に切って再度入れ直してください。
ゼロスイッチが機能しない。	<ul style="list-style-type: none"> 電源投入時、計量台に何か載っていませんか？ 計量台の上のものを降ろしてください。
リモコンがきかない。 モータが動かない。	<ul style="list-style-type: none"> リモコンのコネクタが正しく接続されていますか？

9.5.1. 拡張表示器のエラー表示

エラー	内容	対処法
EEEE	範囲外エラー	<ul style="list-style-type: none"> ・ひょう量より重いものを載せている可能性があります。 ・計量台から表示器へのケーブルが断線している可能性があります。ケーブルの状態を確認後、電源を入れ直してください。 ・重量センサや内部回路が故障している可能性があります。
Err0	初期通信エラー	<ul style="list-style-type: none"> ・ベッドの上の振動等で、ゼロ点が取れない可能性があります。 ・荷重が掛かり過ぎている、またはベッドに何か引っ掛かっている可能性があります。ベッドの上のものを降ろした後、電源を入れ直してください。 ・主表示器と拡張表示器が正しく接続できていない可能性があります。ケーブルの状態を確認後、電源を入れ直してください。
Err1	通常通信エラー	<ul style="list-style-type: none"> ・主表示器と拡張表示器が正しく接続できていない可能性があります。ケーブルの状態を確認後、電源を入れ直してください。
Err2	計測処理エラー	<ul style="list-style-type: none"> ・質量センサや内部回路が故障している可能性があります。電源ケーブルを抜いて、1度電源を完全に切って再度入れ直してください。
Err3	表示処理エラー	<ul style="list-style-type: none"> ・電源ケーブルを抜いて、1度電源を完全に切って再度入れ直してください。
Err9	ハードウェアエラー	<ul style="list-style-type: none"> ・電源ケーブルを抜いて、1度電源を完全に切って再度入れ直してください。
全点灯状態持続		<ul style="list-style-type: none"> ・主表示器と拡張表示器が正しく接続できていない可能性があります。ケーブルの状態を確認後、電源を入れ直してください。

9.5.2. 主表示器のエラー表示

エラー	内容	対処法
E	範囲外エラー	<ul style="list-style-type: none"> ・ひょう量より重いものを載せている可能性があります。 ・計量台から表示器へのケーブルが断線している可能性があります。ケーブルの状態を確認後、電源を入れ直してください。 ・重量センサや内部回路が故障している可能性があります。
-E	範囲外エラー	<ul style="list-style-type: none"> ・総量が-1.9 kg 以下になった場合に出る表示です。(約-3 kg 以上で体重値が安定した場合、安定マークが点灯し、ゼロスイッチを押して表示をゼロにすることができます。) ・重量センサが上方向に強い力を受けたときに出るエラーです。計量台が何か引っかかっているか、計量台の下にものが入り込んでいないか確認してください。 ・計量台から表示器へのケーブルが断線している可能性があります。ケーブルの状態を確認後、電源を入れ直してください。 ・重量センサや内部回路が故障している可能性があります。
E01	回路エラー	<ul style="list-style-type: none"> ・計量台から表示器へのケーブルが断線している可能性があります。ケーブルの状態を確認後、電源を入れ直してください。 ・重量センサや内部回路が故障している可能性があります。
E02	メモリ不良	<ul style="list-style-type: none"> ・電源ケーブルを抜いて、1度電源を完全に切って再度入れ直してください。



警告



- 本器の分解、および改造はしないでください。けが、火災、感電の原因となります。

10. 重力加速度の大きさの範囲

本製品は、重力加速度の大きさの範囲を下表のように分類しています。

2箇所に記載されている県は、どちらの重力加速度の範囲でも使用できます。

たとえば、埼玉県の場合「9.796~9.801 m/s²」または「9.794~9.799 m/s²」が使用できます。

使用地域の表記 重力加速度の範囲	使用地域（都道府県）
9.803~9.807 m/s ²	北海道
9.799~9.804 m/s ²	青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県
9.796~9.801 m/s ²	福島県、茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都（八丈、小笠原支庁を除く）、神奈川県、新潟県、富山県、石川県、福井県、山梨県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県
9.794~9.799 m/s ²	群馬県、埼玉県、千葉県、東京都（全域）、神奈川県、福井県、山梨県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県、福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県（薩摩地方に限る）
9.789~9.794 m/s ²	鹿児島県（薩摩地方を除く）、沖縄県